



野々市町文化協会 だより

第 13 号

発行人
野々市町文化協会
会長 帆刈 宏典
事務所
野々市町中央公民館内
野々市町本町2丁目1-20
TEL (076) 248-0521

資源保護のため再生紙を使用しています



ごあいさつ
野々市町文化協会会長
帆刈 宏典

私達の郷土は中世の治世の中心地であり、歴史と伝統に育まれた風土には文化を育てる土壌と、一向衆の自治にみる活力に満ちた共同、協調の意識が受け継がれているのではないのでしょうか。しかし、人口が増加し都市化が進むことと裏腹に地域コミュニティが薄れ、住民相互の人間関係が希薄となりやすいことも事実です。ここで求められる活動の一つが文化活動ではないでしょうか。

趣味の段階から自己研鑽を求める高いレベルまで様々な対応はありますが、日々の生活に「ゆとり」を与え心を豊かに高め、創造性と若々しい感性、さらに、「おもいやり」の心をも育てる文化活動は物質文明社会での、人を人としてのコミュニケーションを育てる大切な血液と考えます。

二十一世紀を目前に、文化の香り高い地域社会づくりを目指して活動を拡充し、青少年健全育成や高齢化社会での生涯学習、生きがいづくりにも貢献できる方向を求めたいと考えます。併せて、各団体間の交流と相互理解、協力関係をさらに促進する「椿まつり」をはじめ各種催事には積極的に取組み、住民参加の機会と舞台を提供し、文化活動への参加を促すことにも盡力すべきと考えます。

各団体の皆様のこれまでのご努力、ご研鑽に敬意を表しますと共に、今後のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第11回 花と緑ののいち 椿まつり2000



▲新年懇親パーティー



▲マナビィフェスタ



▲視察研修会

文化協会 加盟団体一覧	文化協会				加盟団体				
	団体名	代表者	設立年	会員数	団体名	代表者	設立年	会員数	
1	野々市じょんから節保存会	村上 一夫	昭和35年	68名	9	将棋協会	鈴木久太郎	昭和58年	100名
2	菊花協会	森村 俊夫	36年	60名	10	読書会連絡協議会	山崎 博	61年	46名
3	椿愛好会	佐久間由孝	49年	80名	11	社交ダンス愛好会	山谷 光輝	61年	42名
4	美術協会	二又 米造	52年	92名	12	民謡協会	小林 孝次	平成元年	94名
5	音楽文化協会	朝倉 喜裕	52年	210名	13	俳句協会	奥村誠一路	3年	58名
6	華道協会	中山 栄	53年	124名	14	茶道協会	安田 光男	5年	170名
7	盆栽愛好会	向田初三郎	54年	35名	15	短歌協会	香城 清子	7年	29名
8	囲碁協会	水沢 茂	57年	180名		計			1388名

団 盟 加 通 信

節 会 ん 保 し 保

まつり盛り上げ、 町民の指導にも力

「じよんから」といえば野々市町がすぐ頭に浮かぶほど有名な同町の伝統芸能である「野々市じよんからまつり」。

会場中央のやぐらの上で、最後まで生演奏でおはやしを続け、踊りの輪を盛り上げていきます。まつりの前には各町内会や企業の講習会に出掛け、ボランティアで指導に当たっています。

また保存会では会員を募集しています。いつでも入会できます。

小川（一九四一八〇八四）
または
栗（二四八一〇八九）
まで。



じよんからまつり

菊花協会

のいちマナビフェスタ協賛 菊花展に向けて

西暦「二〇〇〇年」当協会は創立四十周年の節目を迎えました。今の時期、春から丹精した大菊のつぼみが順次開き始めゴール（菊花展）目指して栽培管理に汗を流しているところです。菊作りは諸条件に適した品種、仕立てを選択すれば誰でも美しい花を咲かすことができます。

お気軽に挑戦してみたいかがですか。詳しいことは左記へお問い合わせください。

綾間（四九一三二八）
森村（四九一三二五）



菊花展の様子

椿愛好会

椿に名札を忘れずに

町のイベントとして定着してきた「椿まつり」。椿に対する関心が高まる中で、質問や問い合わせも多くなってきました。一番困ったのは椿の花を持ってこられて、実は買った時名札があったが無くしてしまったが、これは何という名前かと聞かれた時です。椿は非常に品種名が多く、現物と図鑑を見比べてもよく似たものがあり、断定が難しいものです。椿苗を求めたときは品種名を確認し、必ず名札をつけておきましょう。椿には名前が無くとも美しい花をみせるものも沢山ありますが、せっかく名前のある椿苗を求められたのだから、椿の木が大きくなって名札は付けておきましょう。



名札のついた椿苗

美術協会

文化水準向上のために

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の六部門で構成される、美術協会は現在会員数九十二名。おかげを持ちまして、野々市町美術展も今年で十九回を数え、秋の美術協会展も二十二回となります。近年会員数、出品数とも増加の一途をたどり、展示するのに苦勞するくらい、嬉しい悲鳴をあげております。秋には、楽しい研修旅行も行われ、会員相互の親睦と理解を図っております。会員一同、技術の向上の研鑽に努め、町の文化水準の向上に寄与したいと存じます。



美術協会展

音楽文化協会

音楽の持つ力

「音楽」とは文字通り音を楽しむ事です。私達音楽協会の会員は管弦打楽器、あるいは和楽器、そして歌を日々楽しんでいきます。長い人生の中で、自分の好きな楽器を演奏する時、それは本当に素晴らしい時間となります。高年齢が進む中、音楽療法の必要性が高まっています。音楽の持つ不思議な力を感じないではいられません。



マナビフェスタ音楽祭

華道協会

華からの主張

昭和五十三年に設立した華道協会は、今年も椿まつり、じよんからまつり、マナビフェスタ等の町協賛花展に参加すると共に、華道協会として十六回花展も五月に盛大に開催しました。

現在、八流派派百三十余名の会員が、親睦をはかり各流各自の主張する作品を発表し、地域文化の振興のために少しでもお役にたてればと思っております。



若狭・小浜方面研修旅行

盆栽愛好会

ようこそ盆栽愛好会へ

盆樹流（ボンジュール）今日のは。去年成人式を終えたばかりの会です。盆栽は年寄りの趣味だなんてよく世間で言われます。若い人こそ始める趣味なのです。例えば六十歳から始めて三十年後、三十歳から始めて三十年後木はどうなっているでしょうか、人はどうなっているのでしょうか。

全く木の長い話ですがその間木は無限の語りかけをしてくれます。若くして始めればそれを早く活かすことができます。幸せな人です。木を愛する事のできる人は人を愛する事のできる人です。今、会員で盆暦二十三年三十年も木勢います。でも木の若い方ばかりです。御入会をおまちしています。

申込先
向田 二画八一〇八七七



盆栽展

囲碁協会

碁一緒に楽しみましょう

碁は、年輩の人たちがやるものだと思っていないませんか。小学生で碁を打つ子は、希望校への合格率は95%以上とのこと。

一手ごとに最善手を考えて打つ、考える力がつくからですね。定例会は、中央公民館で毎土曜日の晩と日曜日の午後（年会費千円）で碁一緒に楽しみながら、新しい友をふやしましょう。



マナビィフェスタ囲碁大会

将棋協会

将棋でストレス解消を

例会は、木曜日、土曜日の中央公民館で二か月一期の順位戦（リーグ戦）です。成績発表の「協会ニュース」はちょうど第百号になりました。昨年八十七歳の福岡大蔵さん（あすなる団地）が全国ゆうゆう大会で個人優勝し、今年も沢田貴重君（富陽小二年生）が小学生低学年の部で全国大会に駒を進めました。

老少、異職種の方々と熱中してのストレス解消が魅力です。



例会での指導対局

読書協会

読書会の楽しみ

各地区の読書会は独自の発想で良書を選び、例会で作品について自分なりの読後感や意見を述べあつて相互に人格陶冶に励んでいます。読書を通じて作家の精神に触れた感じの時は大変うれしく感じます。

若し人達が積極的に入会され手を携えて情緒豊かな町づくりを励みたいと願っています。



文学散歩

社交ダンス

社交ダンスで心地良い汗を！

社交ダンス愛好会が結成されて十五年目を迎えました。毎週火曜日、中央公民館でプロの先生のコメントに合わせてフロアいっぱいステップを踏んでいます。

年間行事として、温泉泊、パーティー、忘年会、椿まつり参加等、社交ダンスをとおして健康づくり、心のふれあいを大切に活動しております。



チャリティーダンスパーティー

民謡協会

民謡・民舞はいかが

各地区公民館の民謡・民舞サークルの会員約百名が唄に、踊りに楽しみながら活動しています。年間の行事は椿まつり、マナビィフェスタ、民謡まつり等ですが、各々のサークルが単独で行っているものもあり、その都度緊張感・充実感そして達成感が味わえます。

日々を有意義に送りたいと思っている方は最寄りの公民館をのぞいてみてはいかがでしょう。



第12回民謡まつり

俳句協会

俳句は楽しみの種

本協会は会派を超えた俳句愛好者の集まりで会員は五十八名。年間行事は、二月新年句会、三月椿まつり俳句展示と扁額作り、六月総会・吟行句会（会長杯）、八月じよんからまつり俳句大会（各賞多数）、十一月マナビィフェスタ俳句展示など。

六月の七ツ滝・和田山古墳の吟行句会では二十七名参加、会長杯は林風声氏が受賞。初心者者を歓迎。



句会風景

茶道協会

一碗に心をこめて

七年前茶道協会が発足してから毎年、椿まつり、じよんからまつり、マナビィフェスタで茶会を催し、一碗に心をこめて和やかな雰囲気の中で、美味しいお茶を差上げたいと心がけて参りました。

初心を忘れず、変化にも心して、四季折々の風情を添え、一期一会の茶会をと茶道に精進しております。皆さまお茶をどうぞ、又ご入会をお待ち致しております。



マナビィフェスタ茶会

短歌協会

とりくんでみませんか

短歌協会を結成して早六年が過ぎようとしています。

今年度の総会は石川動物園へ吟行と併せて行いました。かつての丘陵地が動物の住みやすい環境に見事に変えられており、ただ目を見張るばかりでした。動物を題材として詠う事にも戸惑いを感じながらも、会員のみなさんの歌を拝見するのが楽しみです。あなたもとりくんでみませんか。



石川動物園

野々市町文化協会表彰

文化活動の功労 功績をたたえる



平成十一年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日（文化の日）文化会館にて挙行され、次の五氏に表彰状と記念品が贈られ、それぞれの功労、功績がたたえられました。（敬称略）

【文化振興賞】

西保 淳甫（菅原町）

町華道協会役員として、会の運営発展と後進の指導に尽力。町の文化振興に貢献

長井 博信（長池町）

町盆栽愛好会員として、盆栽培養技術の普及と後進の指導に尽力。町の文化振興に貢献

加藤 博也（扇が丘）

町囲碁協会役員として、囲碁の普及や対局指導に尽力。町の文化振興に貢献

【文化奨励賞】

佃 栄太（三納）

町音楽文化協会役員として、音楽文化の振興発展と後進の指導育成に尽力。町の文化向上に貢献

福岡 大藏（二日市町）

第十二回全国健康福祉祭ふくい大会将棋交流大会に石川県代表として出場し健闘

わが協会にこの人あり

加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方を紹介するコーナーです。



野々市町社交ダンス愛好会

宮波 正行さん

「わが協会に宮波正行副会長あり」というので顔写真をお願ひしたいんですが、と切り出した所、「いや〜他に最適者がいるのに」とのことですが、わが協会では、忘年会、パーティー、温泉行き、椿まつり等では、適材適所全員が行事を盛りあげます。会発足十五年目の現在、会員も五十余名の所帯となりました。

これも宮波副会長の会員一人一人へのきめ細かい配慮、講師への気くばり、何といっても、会運営に対しての情熱、当会を誰よりも愛し、我が子を育てる様に、いつくしみ、見守りの継続が私達が理想とする会へと一歩ずつ近づいたと感じるこの頃です。十五年目という節目の年に稿を提出する機会に恵まれ、当会にとって素晴らしい記念となり、うれしくもあり、末永い発展を念じつつペンを置きます。

（竹村 外志栄記）



野々市町民謡協会

北川 愛子さん

民謡・民舞と大活躍されておられる愛子さん。お若い時から踊りが大好きでボランティアでいろいろな場所で踊ってこられました。民謡協会が発足した当時よりずっと会の役員をされ、我が協会ではなくてはならない存在です。またとても仲間の面倒見が良く、私達の出来ないお針仕事は全部やって貰えるのでとっても助かり感謝しております。

先日、第十二回民謡協会の発表会が有り、本人得意の「安来節」でこの人しか出来ないよこれ一人おどりされ、民謡ファンにとっても喜んで頂きました。

また、練習日にはいつも本人手作りの食べものを持って来て頂き、仲間を喜ばせてくれ本当に楽しいです。

これからも愛子さんにはいつまでもお元気で一緒に踊りを続けて頂けるよう心より願います。（館 乃富子記）

平成12年度野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体	
顧問	安田彦三	美術協会 将棋協会	常任理事	山谷光輝	社交ダンス愛好会	
	井上昇			山口正昭	民謡協会	
	栗貴章			奥村誠一路	俳句協会	
	田村昌俊			安田光男	茶道協会	
	飯森又郎			香城清子	短歌協会	
	谷下通夫			加藤静枝	じょんから節保存会	
参与	松本佐一			綾間義明	菊花協会	
	米林勝二			中島康雄	椿愛好会	
	館惣吉			野々市利男	美術協会	
	宮岸洋二			泉洋子	音楽文化協会	
会長	帆刈宏典	美術協会 将棋協会		後藤映芳	華道協会	
副会長	無量井三郎			村上茂	盆栽愛好会	
	二又米造			水淵茂	囲碁協会	
	飴谷久太郎			窪田弘	将棋協会	
	丸山順孝			諸角富代	読書会連絡協議会	
	丸山順孝			久保スミエ	社交ダンス愛好会	
理事長	村上清志		じょんから節保存会 菊花協会 椿愛好会 音楽文化協会 華道協会 盆栽愛好会 囲碁協会 読書会連絡協議会		中村三朗	民謡協会
常任理事	森村俊夫				福井香織	短歌協会
	佐久間由孝				進村五月	俳句協会
	山本晃彦				酒井喜和江	茶道協会
	中山栄			山口良		
	向田初三郎			大久保邦彦		
	源野辰一			北洋一		
	山崎博					

平成12年度主な事業計画

月日	事業名	場所
7月6日～16日	野々市町美術展後援	フォルテ
7月29・30日	野々市じょんからまつり協賛	フォルテ周辺
10月1日	文化協会だより発行	町内全戸配布
10月26日～11月5日	のいちマナビィフェスタ協力	中央公民館 フォルテ 郷土資料館
11月3日	文化協会表彰式	フォルテ
11月12・13日	視察研修会	北近畿方面
H13 1月上旬	新春書きぞめ大会後援	中央公民館
1月中旬	新年懇親パーティー	フォルテ
3月17・18日	花と緑ののいち椿まつり2001	フォルテ ふれあい会館 郷土資料館